

りょう Café のご案内



1. りょうCafé ー議会レポートー

●2018年1月19日(金) 19時～21時@中央公民館第2集会室
平成29年第4回定例会の報告会です。今定例会で決まったこと、話し合われたことの注目ポイントを、石川りょうがわかりやすく解説します。今回は、国民健康保険や下水道事業について重点的に話します。

2. りょうCafé ー政策レポートー

●2018年2月23日(金) 19時～21時@中央公民館音楽室
平成30年船橋市議会第1回定例会で審議される予定の議案について事前に市民の皆さんのご意見やご質問をお伺いする会議です。ここで出された皆さんの声を、石川りょうが議会の場で代弁してきます。



- *参加費無料。途中入退室はいつでも可能です。お気軽にご参加ください!
- *中央公民館でのりょうCafé終了後には、希望者のみで懇親会を予定しています。
- *日時等の変更の可能性があるため、石川りょう公式サイト、他のSNS等で必ずご確認ください。

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ で検索! または、QRコードはこちら →



プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(一期目)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT) 257点(TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ふなばし市民大学平成26年度ボランティア入門学科



▲昨年11月に37歳になりました!

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。
発行者: 石川亮
住所: 船橋市芝山3-26-1-703
携帯電話: 080-6575-4711
固定電話: 047-463-2690
メール: info@ishikawaryo.net

船橋市議会議員

無所属

石川りょう通信

Vol.17

討議資料



ごみの収集回数減について

平成29年船橋市議会第4回定例会(4日)は12月22日に閉会しました。

前号の通信で予告した通り、私は、船橋市の家庭系可燃ごみの収集回数を週3回から2回に減らすことについて、その正当性を質しました。

まず大切なことは、収集回数を減らすと、各家庭から出るごみの量が本当に減るのか?ということ。先に収集回数を減らした千葉市では8.6%、川崎市では5.6%、相模原市では4.16%の減少が達成されており、収集回数を減らすことで市民の意識が変わり、ごみの排出量を減らすことにつながるようになりました。船橋市の一人一日あたりの可燃ごみの排出量は520gであり、48ある中核市の中で38番目に多くなっています。これは減らしていかなければなりません。

次に重要なことは、収集回数を減らすと、ごみ処理経費も削減できるのか?ということです。現在、船橋市のごみ収集エリアは「月水金」と「火木土」の2つです。これを「月木」、「火金」、「水土」の3エリアに狭めることで、収集にかかる作業員と車両を少なくすることができるため、年間で約3億円の経費削減ができると予想されていることがわかりました。船橋市のごみ

処理経費は年間で約73億円かかっており、削減の努力は必要だと思います。

船橋市のごみの量が減り、ごみ処理経費も削減できるのであれば、私は収集回数を減らすことに賛成します。しかし、実施に当たって事前に解決しておくべき懸念があることも事実です。

①1回に出すごみの量が増えることにより、ごみステーションの容量が間に合わなくなる心配を指摘したところ、問題が発生した場合には、市役所職員が現地へ赴き、対応方法を検討するという答弁を得ました。ステーションに問題が生じた場合には、市役所にご連絡ください。

②夜間収集地区において、共働き世帯が19時までのごみ出しに間に合わない点を指摘したところ、収集業者と相談をして時間を遅らせることを検討するという回答を得ました。【次ページへ続く】



幅広い世代、世帯、性別の市民の皆さんとの意見交換を!

【前ページからの続き】

ごみの収集回数を減らすということは市民の皆さんの生活に密接に関係する政策決定です。私が今回の政策決定において納得のいかない点は、幅広い市民の皆さんの声を十分に聞くことなく決めてしまったことです。

確かに、船橋市は今回の意思決定をするにあたって、2千を超えるアンケートを取りました。その結果、賛成が6割弱だったのですが、内訳を見ると、回答者の約75%が50歳以上、半数以上が2人以下の世帯です。もちろん、これらの方々の意見も大切ですが、ごみの量という点に関して言えば、もともと少なく、2回に減っても問題があまり無い方々ではないでしょうか?本市の人口割合は、49歳以下の市民が6割を占めています。このアンケートで、幅広い市民の皆さんの声を聞けたと言えるでしょうか?最も影響を受けるであろう4人以上の世帯や子育て世代の心配事に配慮できたと言えるでしょうか?ちなみに、アンケート結果をさらに詳細に分析すると、30歳代の市民は収集回数を減らすことに賛成が約35%、反対が約54%なのです。

ごみの収集回数を減らそうという市役所の考えを知って以降、りょうCaféの開催や通信の配布、SNSへの投稿といった手段によって、私なりに市民の皆さんに周知をしました。その結果集まったのは、子育て世代や多子世帯などサイレントマジョリティの声でした。一律に「知らなかった」、「驚いた」という声が多く、中には、自分たちの知らないところで決められてしまうことへの憤りもありました。市民の



皆さんへの周知や意見交換をどこまでやれるか、やるべきかというのは、まさに行政の永遠の課題ですが、今回の政策決定に関しては、もっとやれたと思いますしやるべきだったと私は考えます。

そこで、今回、私が提案したのは、無作為抽出による市民の皆さんとの意見交換会です。もともとはドイツなどの欧米で開発された手法ですが、住民台帳から無作為に抽出して参加者を募るので、参加者の男女比率や年齢、職業などの構成が、その地域の構成と同様の傾向を示すため、幅広い市民の皆さんの意見を直接聞くことができます。

船橋市役所からは、今年の4月から予定しているごみの収集回数減を周知するための住民説明会から、無作為抽出型の実施を研究するという前向きな回答を得ました。近い将来、本市においては、市民生活に密接に関わる検討課題が目白押しです。公共施設の統廃合、国民健康保険料や下水道料金の改定、指定ごみ袋の有料化などです。こういった検討課題に対して、行政の一方的な決定を押し付けるだけでは行政不信を招きません。幅広い市民の皆さんと一緒に考え、納得をして作り上げる。このような政策決定プロセスを船橋市の文化にしていければ良いと思います。

市民の皆さんにもっと身近な船橋市議会にするために

いよいよ次回の統一地方選挙が来年の4月に迫ってきました。しかし、市民の皆さんにとって、市議会議員は、選挙の前にしか出てこない、普段何をしているのかわからないというイメージの方がまだまだ多いのではないのでしょうか?

私が議員になった目的の一つは、このようなイメージを払しょくすることです。そのためには、議員がどんどん市民の皆さんの前に出ていく活動が必要です。前回の広報委員会で、私から2つの事項を提案させていただきました。

(1) 船橋市議会全体として市民の皆さんとの意見交換会を実施すること

これまででも、議員個人や会派によって、それぞれに意見交換会や報告会を実施する例はありました。しかし、そのスタイルでは支持者しか集まらず、一部の人の意見しか聞けないなどの限界があります。議会全体として開催することにより、幅広い市民の皆さんに集まっただけの可能性が増えますし、様々なご意見をうかがうことで、議会全体としての政策立案に活かしていくこともできます。

(2) 市内の小中学校や高校などへの議会出前講座を実施すること

船橋市議会は、毎年夏休みの時期に、市内の小中高校生を募集して議会見学会を開催しています。昨年は100名近くの参加を得るなど好評をいただいています。来ていただくだけではなく、我々議員の方から、希望のある学校に出向いて出前授業を行い船橋市議会について知っていただく努力をするべきだと私は考えます。

ふなばし plus a

(1) 飯山満駅近くのスーパーマーケット横の三差路の信号機

飯山満駅方面から右折してくる車が危ない!というたくさんの声をいただき、千葉県警察に申し入れていたところ、信号機の改善が実現。昨年の11月から、歩行者用の信号機が青に変わるタイミングが、車用の信号機が赤に変わってから4秒後(普通は2秒後)に変わりました。車と歩行者とのタイミングにゆとりが生まれ、事故を防ぐ効果が期待できます。



(2) ららぽーとと南船橋駅を結ぶ高架橋

この高架橋の上では、歩行者の安全のため、自転車は降りて通行していただくことになっています。地元住民の方々から、自転車が危ないという声をいただき、船橋市役所と千葉県警察に申し入れをしていたところ、この度、地面に注意喚起のピクトグラムを描いていただきました。この高架橋は人通りが多いので、事故の無いようにくれぐれもご注意いただきたいと思います。

